

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2018年9月30日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部経営学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学ロサンゼルス校 現地言語: 英語
留学期間	2018年6月～2018年9月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年9月17日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月下旬～12月上旬 2学期:1月上旬～3月中旬 3学期:3月下旬～6月上旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	44,947 (2016年)
創立年	1919年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	7142.15	約 780,000 円	登録料、施設利用料、UCLA 指定保険等も含む
宿舍費	4353.46	約 470,000 円	大学食堂費も含む
食費		円	宿舍費に含む(週 15 食)、外食費
図書費		円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	Bed Bugs に噛まれた(その他に含む)
保険費		34,530 円	形態:明治大学の海外旅行保険
渡航旅費		91,370 円	
雑費		円	
その他		318,000 円	入寮 1 週間前に渡米した宿舍費および対在位中の生活費、医療費等
その他		39,600 円	ビザ申請関係
その他		円	
<b>合計</b>		約 1,733,500 円	

## 渡航関連

渡航経路: 羽田⇄ロサンゼルス、ロサンゼルス⇄羽田 (直行便、アメリカン航空)

## 渡航費用

チケットの種類 アメリカン航空 エコノミー  
 往路 \_\_\_\_\_  
 復路 \_\_\_\_\_  
 合計 \_\_\_\_\_ 91,370 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

携帯アプリの Skyscanner を利用し(4月中旬)、直行便で一番安かったアメリカン航空を選択。アメリカン航空のホームページにて往復航空券を予約しました。過去の渡米旅行経験で、乗り継ぎ便でアメリカに行ったことがありますが、時間がかかる上、非常に疲れると思いますので、たとえ少し安くてもあまりお勧めしません。

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮(Hedrick Hall)

2)部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 3 人)

3)住居を探した方法:

UCLA Housing の Web ページを常にチェックして、いち早く寮に登録できるように気にかけていました。そして、様々な住居形態の中、一番安いであろう Hedrick Hall の 3 人部屋を第一希望にして提出しました。(第一希望が必ず通るわけではないが、早めに登録することをお勧めします。)寮以外の選択肢としては、Off-Campus のアパート、AirBnB を利用している人も見かけます。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学が提供する寮がやはりベストかと。友達が作りやすい上、外国人のルームメイトと一緒に暮らす機会があり、様々なことが学べると思います。ただ、今回の Hedrick Hall では 10 回以上火災警報器が鳴って(誤作動?タバコ?)、他の寮と比べて断然避難の回数が多かったです。深夜 2 時に鳴った時は絶望的でした。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: 大学の診療所(Ashe Center)で医療サービスを受けました。原因は Bed bugs にかまれたからです。大病院や大きな病院に行くと多額の医療費がかかるので注意。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

寮の Front Desk の係員や寮の各階に Resident Assistant がいました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

危険地域は事前にインターネットで調べ、またアメリカに在住している友達に LA 付近で立ち寄りたくない方がいい場所(Skid row, Compton, Inglewood, Culver City)を聞いてその地域には行かないようにしていました。携帯と財布は必ず身につけるようにしていました。また夜中に一人で出歩かないこと。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内や寮の中の Wi-Fi は問題なく使えました。携帯電話は UCLA がお勧めする Mint という携帯ネット回線を使いました。(3ヶ月で45ドル、1ヶ月の通信量 2GB)渡米前に SIM ロックを忘れずに。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

300 ドルほど持ち込み、クレジットカードと併用。友達と出かける際に移動費などで割り勘になるため、現金が足りなくなったので、日本で事前に作ったデビットカードを使い、現地の ATM で現金を引き出したり、自分が先にクレジットカードでみんなの分を払い、あとで現金を友達からもらったりしていました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特になし。カップ麺が食べたい時にティファールの電気ケトルがあればよかったですと思いましたが、なくても特に問題ないです。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前に指定されたクレジットカードで支払いました。(確か 3 月か 4 月)

## 卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学するならできるだけ早い時期に行くことをお勧めする。なので、はやめはやめに留学の準備や情報収集をすること。就職活動はこれから始まるが、カリフォルニア大学のサマーセッションはあまり就職活動を始めるのに遅れを取らないので良いと思います。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
16 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to International Business	国際ビジネス
科目設置学部・研究科	Global Studies (Anderson Graduate School of Management)
履修期間	6 週間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション、ゲストスピーカー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 125 分が 2 回
担当教授	Paul Park
授業内容	国際ビジネス、国際ビジネスにおいてよく使う枠組み、戦略、基本的なマーケティング法
試験・課題など	ディスカッション、予習(1,2chapter を事前に読む)、Case Study(グループでレポートを 2 回)、ミッドターム試験(選択問題と記述式)、期末レポート(グループで 20 枚ほど)とそれについて最終プレゼンテーション
感想を自由記入	教授が有名な Anderson Graduate School of Management から来たので、とても実践的でついて行くのが精一杯な授業でした。毎週授業前にとてつもない量の英文を読まないで理解するのに時間がかかるのですが、後半になって Case Study や期末レポート等さらに重い課題で予習を怠ったりしていましたが、なんとか乗り越えました。またネイティブの学生や他国から来た学生たちが非常にハイレベルなことを知った授業でした。さらにグループでレポートを 3 回ほど書きましたが、これが非常に大変で自分のライティング力のなさを感じました。これが個人だけで書くことになったらもっと大変であったと思います。非常に貴重な経験を得た授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Conversation and Fluency	コミュニケーション英語(上級)
科目設置学部・研究科	Writing Programs
履修期間	6 週間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション、アクティビティ(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回
担当教授	Jeremy Kelley
授業内容	日常会話においていかに流暢に英語を話すか。アメリカ人が日常会話でどのように英語を使っているか例や他国との比較をしながら分析。留学生のためにうまくネイティブスピーカーと話せるようにスピーキングだけでなく、リスニング、考えることが重要。
試験・課題など	Listening VLogs x3 回(街中のさまざまなシチュエーションでの英語を聞き取り、それについて 2 分の動画をとって英語で説明する)、Conversation Analysis(ネイティブスピーカーと 10 分間話すことを録音してのちに分析)、アメリカの有名な劇をグループで再現、グループでオリジナル劇を作って演じる。
感想を自由記入	課題やアクティビティが多かった授業でしたが、どれも楽しく、先生もとてもおもしろい方だったので毎回の授業を楽しみにしていました。先生の英語も非常に聞き取りやすく、説明もとてもわかりやすく、生徒全員に目を配って優しく面白かったです。また、この授業で知り合った友達と非常に仲良くなり、旅行や普段の時間とともに過ごしていました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sports Marketing and Management: Business of Sports	スポーツビジネス
科目設置学部・研究科	Anderson Graduate School of Management
履修期間	6 週間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゲストと教授の対談形式、ゲストの講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 180 分が 2 回
担当教授	Mark Francis
授業内容	毎回の授業にゲスト(スポーツ業界に携わる人)を呼んで、教授との対談形式、またはゲストの講義形式でアメリカのスポーツ業界について話を聞き、質疑応答もありました。
試験・課題など	毎回のゲストの感想文、中間レポート、期末レポートおよびプレゼンテーション
感想を自由記入	アメリカのスポーツビジネスがいかに進んでいて、スケールが非常に大きいことを感じた。取っている大半の生徒が現地の学生で非常にハイレベルな授業だと感じました。アメリカの 4 大スポーツ(NFL, MLB, NBA, NHL)の知識をあらかじめ知っていたらもっと話しが繋がるし、理解できると思うので、関心ある人は事前に知っていた方がいい。また、日頃にスポーツに関するニュースを見ておくとなおいい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Business Communication: Speaking	ビジネスコミュニケーション
科目設置学部・研究科	Writing Programs
履修期間	6 週間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 2 回
担当教授	Christopher Prejean
授業内容	ビジネス場面を想定したプレゼン方法やビジネスミーティングの進め方を学ぶ授業でした。
試験・課題など	3 回のプレゼンテーション、ビジネスミーティング、リフレクション
感想を自由記入	ビジネスで使える効果的な英語のフレーズやプレゼンの仕方を学べました。教授の英語がとても聞きやすく、一人一人にフィードバックをくれたためになりました。

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2017年 1月～3月	
4月～7月	留学情報収集
8月～9月	TOEFL iBT の勉強
10月～12月	バイトで自分ができる分だけの資金調達
2018年 1月～3月	できるだけ英語に触れる(授業、英語の本を読む、英語でニュースを聞く)
4月～7月	留学準備、留学
8月～9月	留学
10月～12月	留学報告書等

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	<p>私は大学に入学した頃からただ漠然と留学してみたいと考えていました。これと言った具体的な理由はなく、ただ、行くとしたら自分の小さい頃からの憧れのアメリカに行くと考えていました。最初は 1 年間の留学を考えていましたが、1、2 年生の時の自分は怠惰な性格で、留学の情報収集を怠っていて応募時期が過ぎてしまいました。そこで、やっと急いで情報収集をした結果見つけたのがこのカリフォルニア大学のサマーセッションでした。ここから一気に行動を起こし、将来はスポーツ業界で働いてみたいというビジョンもあり、アメリカのスポーツ業界は一番進んでいるのでそこで何かを吸収してきたいということモチベーションとしてこの留学を決めました。</p>
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	<p>普通の生活では、英語で話せるネタを多く持っていた方が良いかと思います。特に自分がもうちょっと知ってた方が良かったのが日本のアニメです。日本のアニメは外国人は結構見ている、私はあまり詳しくなかったのに、深く話したり教えてあげたりできませんでした。授業はやはり、膨大な量のレポートを書かされるので、最低限事前にレポートの書き方、フォーマット、スタイル(APA など)を知ってから留学に行くべきだと思います。あとは、とにかく積極的に英語を話す機会を作ることです。</p>
この留学先を選んだ理由	<p>UCLA は世界的に非常に有名な大学であり、3 ヶ月という短い間でも非常にハイレベルで貴重な授業を受けられると思いました。ロサンゼルスという立地の良さも他の UC の 3 校と比べて非常に良く、天気も毎日良いのでとても過ごしやすくと過去に UCLA で留学した先輩の話聞いてなおさら魅力的に感じました。また、私は個人的にバスケットボールが大好きで、UCLA はバスケットボールの強豪校であり、現地の学生と一緒にバスケットボールを通じてコミュニケーションをとって友達を作りたいと思いました。</p>
大学・学生の雰囲気	<p>UCLA のキャンパスは非常に広大です。やはり日本の大学とは違い、土地が広いのでキャンパスがとても大きいです。私が住んでいる大学の寮から授業が行われる教室のエリアまで徒歩で 15～20 分程度です。また、広すぎてちゃんとキャンパス全部回れなかったかと思っています。他に、キャンパス内は綺麗で、草原みたいなどころがあり、学生たちはよくそこで日向ぼっこや横になって休んでいたりしています。全体的に落ち着いた感じの大学で過ごしやすかったです。</p> <p>さまざまな人種(白人、黒人、アジア系、中東系等)の学生がいました。特にサマーセッションの時期のせいか、中国人留学生在が非常に多かったと感じました。いろいろな人との出会いがありましたが、大部分の人はコミュニケーションを取る人が大好きな人であったので、いろんな考えを持った人たちと話せて非常に貴重な経験を得たと思います。</p>
寮の雰囲気	<p>サマーセッション参加のみの学生が大多数なので、共通点も多く、いろんな友達を作れる環境でした。中国人が圧倒的に多く、アメリカ人、オーストラリア人、ロシア人等、さまざまな場所から来ていた人が身近にいたので、とても新鮮に感じました。ただ、寮のイベントはそこまで大きなものではなく、大して参加人数も多くなかったと思います。1 番の思い出は寮の空いてるルームで友達とボードゲームを深夜 2、3 時までやり続けたことです。</p>
交友関係	<p>ESL の授業で韓国人留學生と中国人留學生とは一気に仲良くなりました。そこから彼らの友達とも会ってすぐに仲良くなって、ロサンゼルス観光や普通の生活を共に過ごしました。他にはルームメイトはアメリカ人 2 人で、とても優しく、英語力をあげたいと言ったら、いろんなことを英語でよく話してくれました。また、私はバスケットボールが大好きなので、入寮してからすぐにボールを買い、バスケットボールコートも寮から 30 秒ほどにあるので、よくそこで現地の学生とバスケットを楽しんでいました。</p>
困ったこと、大変だったこと	<p>入寮1週間前に入国したため、最初は Airbnb を使って民泊していましたが、思いの外、家の外の庭にテントみたいところで泊まったところ、Bed Bugs という虫に噛まれて、日本に帰った今でもまだ完治していません。ホストはとても親切でしたが、やはり安さを追い求めすぎず、ちゃんとしたところに泊まることをお勧めします。他には、アメリカ人が大多数な授業に圧倒されて、ついていくのも大変で、聞きたいこともうまく聞けなかったりしたことがありました。将来、世界で働くことになったらこういった素晴らしい世界の学生たちと働いて、協力したり、対峙したりと少し自信が揺らぎました。しかし、それでも必死に食らいついて、一緒に受けている学生に質問して、乗り切りました。</p>

学習内容・勉強について	ESL の授業内では主に話すことをメインで、クラス内でディスカッションをやったり、プレゼンテーション、ある授業では劇を演じました。ESL は課題こそ多かったものの、楽しみながら取り組めたので、難しくはありませんでした。他の 2 つの授業、International Business と Sports Business はとにかくレベルが高く感じました。内容はもちろん、教授、学生の英語のスピード、課題の量の多さには驚きましたが、先生からのフィードバックや友達と協力して最後までしがみついでやり遂げました。
課題・試験について	1 セッション 6 週間という短い期間にいろいろなものを詰め込んできたと感じました。そのため、よく寮に併設されている Study Lounge に行き自習していました。予習で 20~40 ページほどの英文を読まされるのですが、後半になって行くとレポートや他の課題と重なり、予習を終えられないまま授業に行くことが多かったです。中間試験では頑張って範囲を勉強して、予想以上にいい点数がとれましたが、記述のところ、自分の英文の構成の仕方や文章自体が他の人と比べると圧倒的に幼稚というか、他学生の文章の方が圧倒的にちゃんとした英文らしくて、自分はまだまだだなと感じました。ただメインポイントをしっかり抑えていたので、良い点数には繋がったのだと思います。私が取っていた授業では期末の試験はなく、期末レポートとそのプレゼンテーションでした。ただ、レポートの量が非常に多く、グループでのレポートであったため、うまく分担して、最後まで書き切りました。今まで生きてきた中で一番長く書いた英語のレポートだったと思います。専門用語等もちろん英語であったため、かなり時間をかけてリサーチしたり、英文の構成もグループのアメリカ人学生に見てもらって添削やフィードバックをもらいながら、一つのレポートとして完成させることができました。またそこだけで終わらず、プレゼンテーションもあったので、この準備も同時に進めていたので非常に忙しかった時期でした。
大学外の活動について	決まった団体等には特に入っていませんでしたが、バスケットボールを通じて友達を作ったり、一緒に試合をして汗を流していました。アメリカではバスケットボールは非常に人気のスポーツで多くの学生が空き時間でやります。身体も大きく筋肉がすごい人たちばかりで最初は少し怖かったが、コートに入っていざ一緒にやるときは自分の力を証明して、みんなで楽しくやっていました。思いの外、自分が持っているスキルが通用したところもあって嬉しかったです。
留学を志す人へ	とにかく積極的になることが大事です。自分は留学行く前までは怠惰な性格でした。そんな自分を少しでも変えたいと感じて留学がその一つの方法だと感じました。1 年の留学こそ行けませんでした。Plan B を考えて留学につなげました。back up plan があることはこのことに限らず、さまざまな場面で必要だと感じました。留学前、留学中、これからの生活において人それぞれ何かしら目標があると思います。目標に向かって頑張るのはもちろん、例え、プラン通りいかなかったとしても腐らず、Plan B,C を持っているとうまく切り替えもできると思います。そして、一生懸命努力すること、新しい環境で不安な気持ちがあるのはわかりますが、いまいる comfort zone から自ら離れて、新たな挑戦に向かって頑張ってください。必ず得るものがあると信じて。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	自習	授業	自習	授業	自習か旅行 かバスケ	自習か旅行 かバスケ	自習か旅行 かバスケ
午後	授業	自由時間	授業	自由時間	自習か旅行 かバスケ	自習か旅行 かバスケ	自習か旅行 かバスケ
夕刻				自由時間			
夜	自習	自習	自習	自由時間			自習